

「望めば誰でも 安心して子供を産み 育てられる社会」 の実現に向けて



概要

2050年の社会像として、当チームは「望めば誰もが、将来に夢と希望を持って、子供を産み育てられる社会」を提案しています。妊活・出産・育児における様々な制約や負担から解放され、誰もが自分らしい人生を謳歌すること、次の世代に未来を託すことを両立できる社会です。その社会像に対して、科学・技術にできること、やるべきこと、やらなければならないことは何なのかを調査しています。

本シンポジウムでは日本の子育て環境を俯瞰的に議論するため、国内および海外の専門家より日本における先進的な取り組みや海外の子育て事情に関してご紹介いただき、パネルディスカッションにて「目指すべき/あるべき姿」について議論を深めたいと思います。

Online Live!

オンライン開催

zoomでの開催となります

日時 2021年

6月19日(土)

13:00~16:00

募集要項

定員

先着500名様
※定員になり次第締切ります。

参加費

無料
どなたでもご参加いただけます。

申込先

google form

<https://forms.gle/c63Rta4FYfEKJ4tM9>

※参加申込締切後にzoomウェビナーアドレスとパスコードをメールにて御連絡いたします。

申込締切

2021年
6月18日(金) 12時

問

国立大学法人 東北大学
Tel.022-752-2186(代)

内容

講演

「日本の子育て なんでやねん」

ウスビ・サコ氏 / 京都精華大学 学長 国際文化学部 教授
Oussoby SACKO

講演

「私も”妊孕力”を読めなかった。子育て環境 日本一をめざす ~岩見沢市の挑戦~」

吉野 正則氏 / 株式会社日立製作所基礎研究センターシニアプロジェクトマネージャ

講演

「ケニア・牧畜民マサイ社会と中国における子育て」

田 暁潔氏 / 日本学術振興会特別研究員 (JSPS-PD)、筑波大学 体育系
デン・シャオジェ

講演

「日本人夫婦のコペアレンティングの実態と新しい日本文化型育児」

中村 康香氏 / 東北大学大学院 医学系研究科 家族支援看護学講座
ウイメンズヘルス・周産期看護学分野 准教授

講演

「デンマークの子育て支援とジェンダーギャップへの取り組み」

ニールセン 北村 朋子氏 / Lollands Højskole 理事

パネルディスカッション

- パネリスト：講演者等
- コーディネーター：桐野/吉田



未来社会健康デザインプロジェクト

主催

ムーンショット・ミレニア・プログラム
「子孫繁栄社会構築チーム」

国立大学法人東北大学 未来社会健康デザイン拠点

後援

国立研究開発法人 科学技術振興機構

「望めば誰でも安心して子供を産み育てられる社会」 の実現に向けて



出演者プロフィール

13:00~13:10	開催の挨拶・プロジェクトの趣旨説明	吉田 慎哉 東北大学大学院 特任准教授	
13:10~13:35	「日本の子育て なんでもやねん」 ウスビ・サコ (Oussouby SACKO) 氏 京都精華大学 学長 国際文化学部 教授	マリ共和国生まれ。中国・北京語言大学、南京東南大学を経て来日。京都大学大学院建築学専攻博士課程修了。『空間人類学』をテーマに、国や地域によって異なる環境や、コミュニティと空間のリアルな関係を研究している。	
13:35~14:00	「私も”妊孕力”を読めなかった。子育て環境 日本一をめざす ~岩見沢市の挑戦~」 吉野 正則 氏 株式会社日立製作所基礎研究センター シニアプロジェクトマネージャ	株式会社日立製作所基礎研究センターシニアプロジェクトマネージャ 1980年(株)日立製作所入社 事業戦略・商品企画などを担当 2015年より日立製作所の研究開発グループ シニアプロジェクトマネージャとして北海道大学COI拠点長、日立北大ラボに勤務。北海道大学COI『食と健康の達人』拠点では、プレママから子育て、高齢者、病後も健康で笑顔あふれる幸せ生活の実現に取り組んでいる。	
14:00~14:25	「ケニア・牧畜民マサイ社会と中国における子育て」 田 暁潔 (デン・シャオジェ) 氏 日本学術振興会特別研究員 (JSPS-PD) 筑波大学 体育系	アフリカ・ケニアの牧畜民マサイを対象にした文化人類学的な研究に従事している。これまでの研究は主に子どもの社会化、日常実践(仕事と遊び)による文化学習に着目してきた。最近、文化学習と身体発達の関連性にも強い関心を持っている。	
14:25~14:35	休 憩		
14:35~15:00	「日本人夫婦のコペアレンティングの実態と新しい日本文化型育児」 中村 康香 氏 東北大学大学院 医学系研究科 家族支援看護学講座 ウイメンズヘルス・周産期看護学分野 准教授	助産師、看護師、保健師の免許を有し、臨床および大学教員の経験を経て、2007年千葉大学大学院で看護学博士取得。2018年より現職。妊娠期を中心とした研究に取り組み、妊娠期から夫婦ともに協働して育児に取り組むコペアレンティングプログラム開発とその効果検証に携わる。	
15:00~15:25	「デンマークの子育て支援とジェンダーギャップへの取り組み」 ニールセン 北村 朋子 氏 Lollands Højskole 理事 Cultural Translator	日本とデンマーク。人と人。人と人を取り巻く環境とのつながり。教育と民主主義をツールにこれらを思考し、ほぐして広く伝え、協働する実践者。人とそれを取り巻く環境が幸せな地球を目指し、そのためのネットワークづくり、学びと実践の場づくりを行う。2001年より暮らすデンマーク、ロラン島でフォルケホイスコーレLollandsHøjskoleの開校準備中(2022年秋開校予定)。対話や実験、実践を通じて持続可能、健康でおいしい食と水の公平な分配、安全供給とよりよい民主主義の世界との共生を進める。The Foreign Press Association in Denmarkメンバー。国際ソロプチミスト会員。	
15:25~15:50	パネルディスカッション	●パネリスト：講演者等 ●コーディネーター：桐野 宙治 (株)クリスタル光学 代表取締役専務 吉田 慎哉 (東北大学大学院 特任准教授)	
15:50~16:00	閉会の挨拶		